

2023年 第1回 千葉大本番レベル模試 世界史

採点基準

全3問 60分 100点満点

1 (36点)

採点基準

問1 2点

問2 2点

問3 (基準の合計16点→14点満点)

* アンボイナ事件 (基準の合計6点→3点)

〔アンボイナ事件①〕 アンボイナ事件がオランダによって起こされた 2点

- ・ アンボイナ事件にオランダが深く関わったことが読み取れれば可

〔アンボイナ事件②〕 (①の後) イギリスはインドネシア／東(東南)アジアから退いた 2点

- ・ 以下「イギリス」を「イギリス東インド会社」と表記しても可

〔アンボイナ事件③〕 (①の後) イギリスはインド経営に注力した 2点

- ・ アンボイナ事件以後にイギリスがインドへ本格的に進出したことが読み取れれば可

* イギリスの通商活動 (基準の合計6点→4点)

〔通商活動①〕 イギリスはマドラスを拠点にした 2点

〔通商活動②〕 イギリスはボンベイ・カルカッタを拠点にした 2点

- ・ 都市名を片方しか挙げられていない場合は1点

〔通商活動③〕 イギリスは(インド産)綿布／綿織物／キャラコを取引した 2点

* 英仏対立 (基準の合計6点→3点)

〔英仏対立〕 イギリスはインドでフランスと対立した 1点

〔プラッシーの戦い①〕 プラッシーの戦いでイギリスがフランスとベンガル太守を破った 3点

- ・ ベンガル太守について言及が無い場合は2点

〔プラッシーの戦い②〕 (①で) クライヴが活躍した 1点

〔プラッシーの戦い③〕 (①で) インドにおけるイギリスの(対仏)優位が確定した 1点

- 戦争後にインドでイギリスがフランスに対して優位に立ったことが読み取れば可

* カーナティック戦争（基準の合計4点→3点）

〔南インド①〕 カーナティック戦争でイギリスがフランスに勝利した 2点

〔南インド②〕 ①で南インドにおけるイギリスの（対仏）優位が確定した 1点

〔南インド③〕 ①で クライヴ／デュプレクスがカーナティック戦争で活躍した 1点

* インド支配の基礎（基準の合計5点→3点）

〔徴税権①〕 ブクサールの戦いでイギリスがベンガル太守／ムガル皇帝に勝利した 1点

〔徴税権②〕 ①／プラッシーの戦いの後イギリスがベンガル地方の徴税権を獲得した 3点

- ベンガル地方に言及が無い場合は1点

〔徴税権③〕 ②によりイギリスはインド支配の基礎を築いた／領土支配を開始した 1点

問4

a 2点

b 2点

c 2点

問5

(1) 2点

(2)（基準の合計6点→6点満点）

* スペイン（基準の合計5点→3点）

〔スペイン①〕 重金主義 2点

〔スペイン②〕 貴金属／金／銀の蓄積を重視した／国外流出を禁じた 1点

- 貴金属／金／銀の保有量を増やそうとしたことが読み取れば可

〔スペイン③〕 海外／アメリカ大陸の鉱山を開発した／鉱山から富を得ようとした 2点

- 「鉱山」についてはポトシ銀山の名を挙げていても可

* イギリス（基準の合計5点→3点）

〔イギリス①〕 貿易差額主義 2点

〔イギリス②〕 国際収支の改善／国家財政の増大／貿易黒字の増加を図った 1点

- 貿易によって富を獲得しようとしたことが分かれば可

〔イギリス③〕 輸出の拡大を図った／保護貿易を行った／国内産業を保護した 2点

問6

(1) 2点

(2) 2点

2 (32点)

採点基準

問1

- a 2点
- b 2点
- c 2点
- d 2点
- e 2点
- f 2点

問2 2点

問3 (基準の合計14点→10点満点)

* オリент (基準の合計3点→3点)

〔オリент①〕(東方遠征により) ギリシア文化とオリент文化が融合した 2点

- ギリシアとオリентが交流したことが読み取れば可

〔オリент②〕(①の結果) ヘレニズム文化が形成された 1点

* 世界市民主義 (基準の合計5点→3点)

〔世界市民主義①〕世界市民主義(の思想)が広まった 1点

〔世界市民主義②〕(①は)世界全体を1つの共同体とみなした 2点

〔世界市民主義③〕(①と並行して)個人主義の風潮が生じた 2点

- 世界市民主義が個人主義的思想だったことを指摘しても可

* ポリス (基準の合計4点→2点)

〔ポリス①〕(世界市民主義流行の背景として)ポリスが衰退/解体した 2点

- ポリスの力が弱まったことが読み取れば可

〔ポリス②〕(世界市民主義は)ポリスの枠にとらわれない思想である 2点

* エピクロス派 (基準の合計4点→3点)

〔哲学①〕エピクロス派が流行した 1点

〔哲学②〕エピクロス派は快楽主義である 1点

〔哲学③〕(禁欲主義の)ストア派が流行した 2点

* ギリシア語 (基準の合計6点→3点)

- [ギリシア語①] ギリシア語が共通語／公用語／標準語となった 2点
- [ギリシア語②] (①は) コイネーと呼ばれた 2点
- [ギリシア語③] (①／②により) ギリシア諸科学がまとまった／発展した 1点
- [ギリシア語④] (①／②は) ギリシア風都市を中心に広まった 1点

問4 (基準の合計10点→8点満点)

* インドにおける影響 (基準の合計11点→6点)

- [ガンダーラ美術①] (インド／クシャーナ朝で) 東西交易が行われた 1点
- [ガンダーラ美術②] (①により) 他地域の文化がインドに流入した 1点
- [ガンダーラ美術③] (インド／クシャーナ朝で) 仏像が制作された 2点
- [ガンダーラ美術④] (仏像は) 西北(北)インド／ガンダーラ地方を中心に制作された 1点
- [ガンダーラ美術⑤] (インド／クシャーナ朝で) ガンダーラ美術が形成された 2点
- [ガンダーラ美術⑥] (ガンダーラ美術は) 写实的／ギリシア彫刻の影響がある 2点
- [ガンダーラ美術⑦] (ヘレニズムの影響として) 彫りが深い／ひだのある衣服 2点

- 高い鼻・鼻筋が通っている・口髭・髪型・たくましい身体つきなどを指摘しても可

* 他地域への影響 (基準の合計8点→4点)

- [他地域への影響①] (インドの美術は) (東西) 交易路を通じて広まった 1点
- [他地域への影響②] (インドの美術は) 大乘仏教と共に広まった 2点
- [他地域への影響③] (インドの美術は) 東アジアに広まった 2点
- 中国・日本・朝鮮などの具体的な地域名を挙げて可
- [他地域への影響④] (インドの美術は) 中央アジアに広まった／を經由した 2点
- [他地域への影響⑤] (他地域でも) 石仏／仏像が制作された／仏教美術に影響を与えた 1点

- 雲崗の石仏など、具体例を指摘しても可

3 (32点)

採点基準

問1

- a 2点
- b 2点
- c 2点
- d 2点

問2

(1) 2点

(2) (基準の合計2点→2点満点)

〔変化前〕(変化前の統治として) 武断政治 1点

〔変化後〕(変化後の統治として) 文化政治 1点

問3 (基準の合計21点→20点満点)

* 膠州湾 (基準の合計3点→3点)

〔膠州湾〕日本が(第一次世界大戦で) 膠州湾を占領/攻撃した 3点

* 袁世凱 (基準の合計4点→3点)

〔袁世凱①〕袁世凱は二十一カ条の要求(の多くの部分)を(最終的に)承認した 2点

- 袁世凱が二十一カ条の要求を受け入れたことが分かれば可

〔袁世凱②〕袁世凱は日本から(軍事的)圧迫を受けた 1点

〔袁世凱③〕(政府/日本に)(中国)世論は反発した 1点

* ドイツ (基準の合計4点→2点)

〔ドイツ①〕膠州湾はドイツ租借地であった 2点

- 膠州湾がドイツの権益であったことが分かれば可

〔ドイツ②〕二十一カ条の要求には(山東の)ドイツ利権継承が含まれた 2点

- 「利権」は「権益」「権利」などと表記しても可

* パリ講和会議 (基準の合計5点→3点)

〔パリ講和会議①〕中国/中華民国/北京政府はパリ講和会議に戦勝国として参加した 2点

- 中国が戦勝国であるという指摘がない場合は 1点

〔パリ講和会議②〕(会議では) 二十一カ条の要求は破棄されず/日本が山東利権を得た 3点

- 会議で中国の提案が拒まれたという指摘に留まっている場合は 2 点

* 学生（基準の合計 3 点→3 点）

〔学生〕五・四運動の中心／発端は（北京の）学生 3 点

- 「学生が 5 月 4 日の運動を起こした」など五・四運動の名称に触れていない場合は 2 点

* 調印（基準の合計 3 点→3 点）

〔調印〕中国／中華民国／北京政府はヴェルサイユ条約の調印を拒否した 3 点

* ウィルソン（基準の合計 4 点→3 点）

〔ウィルソン①〕ウィルソンが十四カ条を示した 1 点

〔ウィルソン②〕ウィルソンが（十四カ条で）民族自決（原則）を示した 3 点

* その他の五・四運動の背景・経緯（基準の合計 4 点→1 点）

〔背景①〕（五・四運動の背景として）新文化運動 1 点

〔背景②〕（五・四運動の背景として）民族資本の成長／労働者の増加 1 点

〔経緯①〕（五・四運動では）労働者が加わった／労働者がストライキを行った 1 点

〔経緯②〕（五・四運動では）日本商品が排斥された 1 点